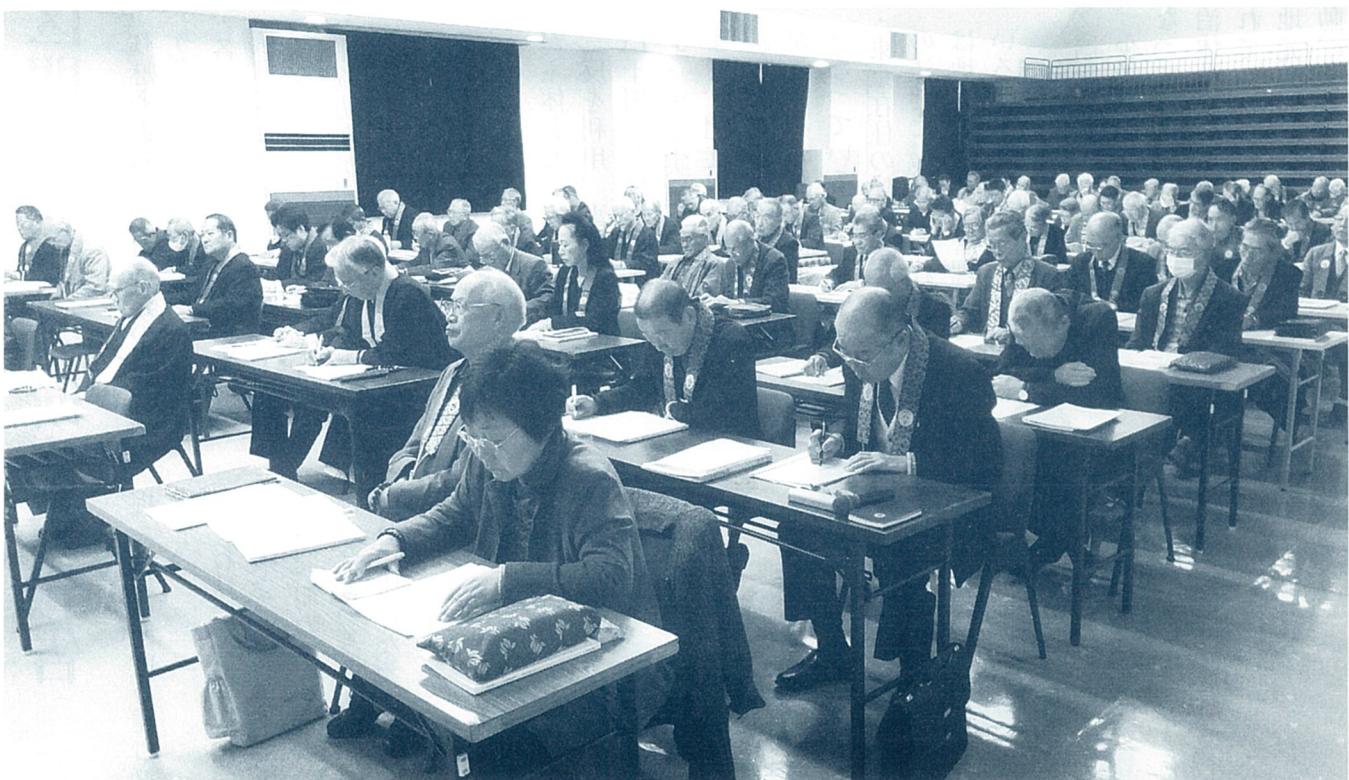


# 山陰教区門徒総代会だより

編集・発行：浄土真宗本願寺派山陰教区門徒総代会 会長 上田正吉  
〒690-0002 松江市大正町443の1本願寺山陰教堂 TEL 0852-21-4747 FAX 0852-27-8351



山陰教区門徒総代会 会長 上田正吉

## 『結ぶ絆から、広がるご縁へ』 総代としての立場から

今、彷彿と脳裏に蘇るお寺の風景がある。夏休みのラジオ体操、日曜学校、ご正忌の夜の住職さんの声に独特の抑揚のある御伝鉢、紙芝居幻燈、肝だめし等々。そこには多くの子ども達の姿や声があふれていた。つまり寺は子ども達の学びの場でもあり、遊びの場でもあった。昭和五十年代頃までのことである。

しかし、今日は、すっかり少子化となり、子どもの姿を見ることも少なくなった。あの時の子ども達が親になつたが、寺から遠ざかってしまい、寺参りは高齢者がほとんどである。

では、如何にして若者や壮年層を寺に向けさせるかが今日的課題であり、総代としての務めであろう。魅力ある法会や講座の休日開催、奉仕活動、場の提供（趣味や文化的行事）懇親会（新年会、花見、慰労会）などを通して寺へ足を向ける機会を多く設定し関心を高める。また、仏婦や若婦、仏壯への働きかけ、連研受講の推奨など、総代自身が自覚を持ち門信徒、僧侶、寺族、その他の団体と連携して「魅力ある寺」を目指していきたい。

ところで、実践運動の総合基本計画が宗門より示され、二十七年度から三年間のスローガンは『結ぶ絆から、広がるご縁へ』と設定された。人と人、わたしと仏様とのご縁を大切にして今後の活動を続けていきたい。

# 山陰教区門徒総代会研修会報告

り魅力ある寺、自分達の寺とい

う意識を培う。

捉え、今後は取り組む必要がある。

## 少子高齢社会における 寺院護持運営について

鳥取因幡組総代会

代表 山根 一記

2015(平成27年)3月31日 (2)

従来は分科会毎に分れて、テーマを設定し話し合いをしていましたが、今年度は会場ごとに二名の提案者によって実践活動による提案をした。テーマ「少子高齢社会における寺院護持運営について」サブテーマ「日常の寺院活動、地域とお寺とのつながりから」講師には西本願寺総合研究所研究員の那須公昭先生を招いた。

- ・各寺の活動としては報恩講前の仏具磨き、地区あげての大掃除を実施している。
- ・住職坊守が囲碁、大正琴、茶花等の指導による会場提供をし、門徒外の人も寺の各種法要の参詣するようになつた。
- ・サツマイモ栽培を門徒が主体となつて、休耕田三反を利用、事業費（一口千円）と住民のボランティアで実施している。
- ・また、門徒以外にもその趣旨の理解を得て輪が広がり、その成果は地域力となつてている。

総代会だより

第5号

|       |                |     |
|-------|----------------|-----|
| ○鳥取会場 | 鳥取因幡組          | 願正寺 |
| 期 日   | 十一月二十六日(水)     |     |
| 提案者   | 正栄寺 谷川輝久       |     |
|       | 覺善寺 下田貞夫       |     |
| ○石見会場 | 石央地域地場産業振興センター |     |
| 期 日   | 十二月二日(火)       |     |
| 提案者   | 淨福寺 松下 誠       |     |
|       | 立安寺 山根哲朗       |     |
| ○出雲会場 | 出雲市民会館         |     |
| 期 日   | 十二月三日(水)       |     |
| 提案者   | 順光寺 春日一男       |     |
|       | 源光寺 新宮 功       |     |

### ②講師総評

①提案者実践活動報告の概要  
・若者の寺参りが少ないので、若者が気軽に寺へ足を向ける対策としてのコンサートや落語の開催、奉仕活動後の懇親会等によ

なつて、人口減少による自治体消滅の可能性が指摘されている。開かれた本堂、地元の特徴を活かした活動、そして寺院活動として

こうした社会背景を踏まえて、平成26年度山陰教区の各地区総代会研修会では「少子高齢社会における寺院護持運営について」をテーマに掲げて研修会が開催されました。今後の厳しい現実を直視すれば、寺院護持運営は決して平坦なものではありません。

諸問題の解決に向け、横断的な施策の検討が求められます。これまで以上に総代の皆様の知恵や門信徒の皆様の支援が必要な時代

③終わりに  
研修会は三会場延べ人数二六三名の参加の下に盛大に開催された。今後の課題に向って、住職総代が一体となって取り組んで行きたい。

名の参加の下に盛大に開催された。今後の課題に向って、住職総代が一体となって取り組んで行きたい。

日本的人口は2048年に1億人を割込み、60年には8674万人と現在の3分の2まで縮小します。また65歳以上の高齢者が占める割合は10年の23%から60年には39・9%まで上昇すると予想されています。



## 阿弥陀如来に導かれて

出雲南組門徒総代会

代表 落合 熙美

教務所から原稿依頼を受け、正直なところ困惑しました。所属寺の前会長の急逝により三年勤めれば交替と思い受けた私です。門徒会の事も組の事もわからず、手許にあった冊子「総代さんの働き」を読んでみました。

「親鸞聖人を宗祖とするこの宗派は聞法によって始まる。人が集まるにはお堂が必要。お堂ができるとそれを維持管理する住職・門徒会が必要」とあつたと覚えていました。寄稿の主旨は組の総代会の取り組みとということでしたので思いつくまま書いてみます。

平成二十一年飯石北組総代会として津山市の誕生寺を訪ねた時、「門徒数の減少・住職不在・無住寺院の問題」等、将来を見越しての組再編の話がありました。確かに山間地の北組では遠からず抱える問題と受け止めました。それも二十三年から施行されるところでしたのが実際には二十四年から南へ、出雲南組となりました。組名が変って三年やつと馴れました。

平成二十三年には京都西本願寺で勤修の『親鸞聖人七百五十回大遠忌法要』に参拝のご縁を頂きました。

二十五年には「南九州かくれ念佛の旅（聖跡参拝）」が企画され、ご一緒させて頂きました。その感想等を組内四ヶ寺で年二回発行している機関紙「ともしひ」の寄稿より抜粋して紹介します。

平成二十五年錦秋の十一月、出雲南組の聖跡参拝が企画され、南九州を訪ねました。隠れキリシタンは知っていましたが、「かくれ念佛」はじめて聞きました。一向揆に端を発した経緯があるとはいえ驚きでした。相良藩から島津藩にかけての地で、浄土宗は邪宗として厳しい弾圧を受けながらも真宗門徒の強い信仰心でお念いました。

平成二十二年六月には「北組、大遠忌お待ち受け法要」をチエリバホールで開催しました。雅樂の生演奏に続き宗祖讚仰作法（音楽法要）が勤まり、続いての記念講話は、おり人の作者青木新門師でした。法要終了後は講師の宿舎で会食。先生が参加者ひとり一人にお酒をついで回られ、親しく言葉をかけて頂き恐縮しました。お柄に触れました。

平成二十三年には京都西本願寺で勤修の『親鸞聖人七百五十回大遠忌法要』に参拝のご縁を頂きました。

所属寺では門徒会長として「親鸞聖人七百五十回大遠忌法要・内陣修復完了奉告法要・報恩講法座」も勤修し、多少の問題も無事のり越えられたのは阿弥陀如来様のおかげと感謝し、平成二十六年六月に住職と上山して帰敬式を受けました。

ある知人の会葬のとき、靈柩車、待ちの短い時間の導師のお話『葬儀を執りおこなうにあたり、まず、「シカバナ」を作ります。シカバナのシカは「一止過」です』

縁あってこの地で共に過した方の葬送の儀。時よ、しばらく止まれ。

阿弥陀如来の慈愛に守られて、同門、地域の人々と共に歩みたいと願うものであります。

になつたと言えます。

ところで総務省統計局のデータによると、現在日本には仏教系の寺院は約7万5千あるとのことです。全国の小中学校が3万、コンビニが4万ぐらい、その数を合わせたよりもお寺が多く現存していることに驚かますが、このことは日本人の信仰心の篤さを示す一つの証左と言えるのではないかと思います。

わが国では、団塊の世代が続々ハッピーリタイアしています。古印度では人生を「学生期」「家庭期」「林住期」「遊行期」の4つに分ける思想がありますが、団塊の世代は、いわば「遊行期」を迎える時期にあるのではないかと思われます。「終活」のテーマが社会現象化するなどを見れば、それが新たな自分の定点を見つめることがあります。「終活」のテーマが社会現象化するなどを見れば、それが新たな自分の定点を見つめる時期、そのことがすなわち信仰に入していく機縁に恵まれる時期になるのではないかと思います。

寺院の社会的、文化的復権が望まれる昨今ですが、今後の寺院護持運営の健全化を図るには、新たな門信徒を増やすことも重要課題と言えます。ピンチをチャンスと捉え、IT時代に即したPR活動を積極的に行うなど、「信仰への機縁」の良き導きとなる諸施策を開発することが大切と考えます。

## 同級生の死が教えたこと

益田組門徒総代会  
会長 山根 哲朗

昨年十二月二十七日（土）のお昼時のことです。大阪市に暮らす同級生のN子さんが亡くなつたとの訃報が飛び込んで来ました。N子さんは平成二十四年に医師から末期癌の宣告を受けて、それでも泣きごとを言うこともなく前向きに生きてきました。

平成二十六年一月十三日N子さんは元気を振り絞つて故郷の土を踏みました。故郷の益田市美都町に身内や親戚がいる訳ではないのに中学生までの十五年間を過ごした故郷へ帰省してくれました。そして、私たち同級生と思いつくりお酒を飲み、カラオケで歌い、笑顔で踊つて、大阪の病院へと戻つて行きました。まさに大きな覚悟を決めた上での一瞬の帰省でした。その強さに頭が下がります。

同級生で相談の結果、益田市内に住む五名が私の車で大阪に向かうこととなり、近畿界隈にすむ同級生と合流して二十九日のお通夜、三十一日のお葬式へお参りして三十一日の未明に帰つて来たところです。その御住職は観無量寿經をお勤めされました。私たち故郷から出向いた五名も全員が浄土真宗本願寺派の門徒で「同じ真宗でよかつたね」と言いながら翌三十日のお葬式に臨みました。しかし、お通

夜もそうでしたが、お葬式もまったく手順が違うのです。  
まず、ご法話がない、御文章の拌読もない、焼香のタイミングも私たちの普段とまったく違うことに私は正直驚きました。

そして、とても大切なことだとと思うのですが、お葬式が単に儀式であり、なにかしら心が通つていないうい、そんな気がしてなりませんでした。「やればいいだろう、そんな風に見えた。」と益田から参列の五名は異口同音に申しておりました。

私たち田舎に住む者は近所のご不幸となるとアレコレとお世話をして葬儀そのものを取り仕切ることもたまにはあります。これまでの私の未熟な経験だけでも数えればきりがないほどそのような場面を体験して参りました。そこでいつも思つていたことです、親などが亡くなると子どもたちが都会から帰つて来ます。しかし、それこそ「帰つてきたのだからそれでいいだろう。」と言わぬばかりの態度に出会うことも少なくありません。

私はこの度、大阪でのN子さんとのお別れの場面に出席してそのやり切れない思いが理解できたよう気がしました。

日本人の心の立て直しは私たち浄土真宗本願寺派の門徒のあり様にかかっている、都會の人との「なり」を見た時に、そのように思えてなりません。それは、田舎に住むつまり私自身のことと教わりました。

## 編集後記

そして未来をみつめる姿が伝わってきます。それに比べて私自身は、知らないことや、ふだん何も考えていないうことが多く、お恥ずかしい限りです。これからも、総代さんのお力を借りながら、お念佛を頂き、ともに喜んでいける活動を進めたいと思います。

今回は、会長と鳥取・出雲・石見の理事3名から玉稿を賜りました。みなさま組の代表者だけあり、名文ぞろいです。総代として、住職とご門徒の間に立つてご苦労いただき、寺院の現状と改善策を模索し、

### 2014(平成26)年度 山陰教区門徒総代会 会計歳計予算

| 歳入の部 |        | 款項        | 費目        | 26年度予算額 | 25年度予算額           | 対 比 | 説 明 |
|------|--------|-----------|-----------|---------|-------------------|-----|-----|
| 1    | 会費     | 804,000   | 804,000   | 0       |                   |     |     |
| 1    | 当年度会費  | 804,000   | 804,000   | 0       | 1ヶ寺 2,000円×402ヶ寺分 |     |     |
| 2    | 前年度未収金 | 0         | 0         | 0       | 年会費未収金            |     |     |
| 2    | 研修会参加費 | 360,000   | 360,000   | 0       |                   |     |     |
| 1    | 研修会参加費 | 360,000   | 360,000   | 0       | 1人 1,500円×240名    |     |     |
| 3    | 助成金    | 260,000   | 260,000   | 0       |                   |     |     |
| 1    | 助成金    | 260,000   | 260,000   | 0       | 宗派・教区助成金          |     |     |
| 4    | 雑収入    | 6,019     | 819       | 5,200   |                   |     |     |
| 1    | 雑収入    | 6,019     | 819       | 5,200   |                   |     |     |
| 5    | 繰越金    | 179,981   | 105,181   | 74,800  |                   |     |     |
| 1    | 前年度繰越金 | 179,981   | 105,181   | 74,800  |                   |     |     |
|      | 合 計    | 1,610,000 | 1,530,000 | 80,000  |                   |     |     |

| 歳出の部 |          | 款項        | 費目        | 26年度予算額 | 25年度予算額      | 対 比 | 説 明 |
|------|----------|-----------|-----------|---------|--------------|-----|-----|
| 1    | 事業費      | 705,000   | 655,000   | 50,000  |              |     |     |
| 1    | 研修費      | 650,000   | 600,000   | 50,000  | 開催経費（3地区）    |     |     |
| 2    | 会報印刷費    | 55,000    | 55,000    | 0       | 「門徒総代会だより」印刷 |     |     |
| 2    | 会議費      | 230,000   | 230,000   | 0       |              |     |     |
| 1    | 理事会費     | 150,000   | 150,000   | 0       | 監査・理事会開催経費   |     |     |
| 2    | 常任理事会費   | 80,000    | 80,000    | 0       | 2回           |     |     |
| 3    | 教化助成費    | 400,000   | 400,000   | 0       |              |     |     |
| 1    | 教化助成費    | 400,000   | 400,000   | 0       | 20,000円×20組  |     |     |
| 4    | 組織強化費    | 30,000    | 30,000    | 0       |              |     |     |
| 1    | 組織強化費    | 30,000    | 30,000    | 0       | 宗派負担金等       |     |     |
| 5    | 事務費      | 85,000    | 85,000    | 0       |              |     |     |
| 1    | 通信・印刷費   | 80,000    | 80,000    | 0       | 郵券料          |     |     |
| 2    | 諸費       | 5,000     | 5,000     | 0       | 事務消耗品等       |     |     |
| 6    | 雑費       | 5,000     | 5,000     | 0       |              |     |     |
| 1    | 雑費       | 5,000     | 5,000     | 0       |              |     |     |
| 7    | 出向費      | 40,000    | 40,000    | 0       |              |     |     |
| 1    | 全国門徒総代会費 | 20,000    | 20,000    | 0       | 全国門徒総代会出向費等  |     |     |
| 2    | 連絡協議会費   | 20,000    | 20,000    | 0       | 中四国連絡協議会派遣経費 |     |     |
| 8    | 予備費      | 115,000   | 85,000    | 30,000  |              |     |     |
| 1    | 予備費      | 115,000   | 85,000    | 30,000  |              |     |     |
|      | 合 計      | 1,610,000 | 1,530,000 | 80,000  |              |     |     |